

感染症発生動向調査事業等に関わる検体

ゆうパック利用時の 梱包方法

国立感染症研究所

輸送者の違い

- ① 郵便： 郵便事業は公共のもの。
内国郵便約款に従う。
- ② ゆうパック： 民営化の結果、
完全な民間宅配業者。
ゆうパック約款に従う。

基本的3重包装

1次容器
(防漏性の容器)

2次容器
(防漏性の強固な容器)

3次容器
(壊れにくい容器)

4次容器
(壊れにくい容器)

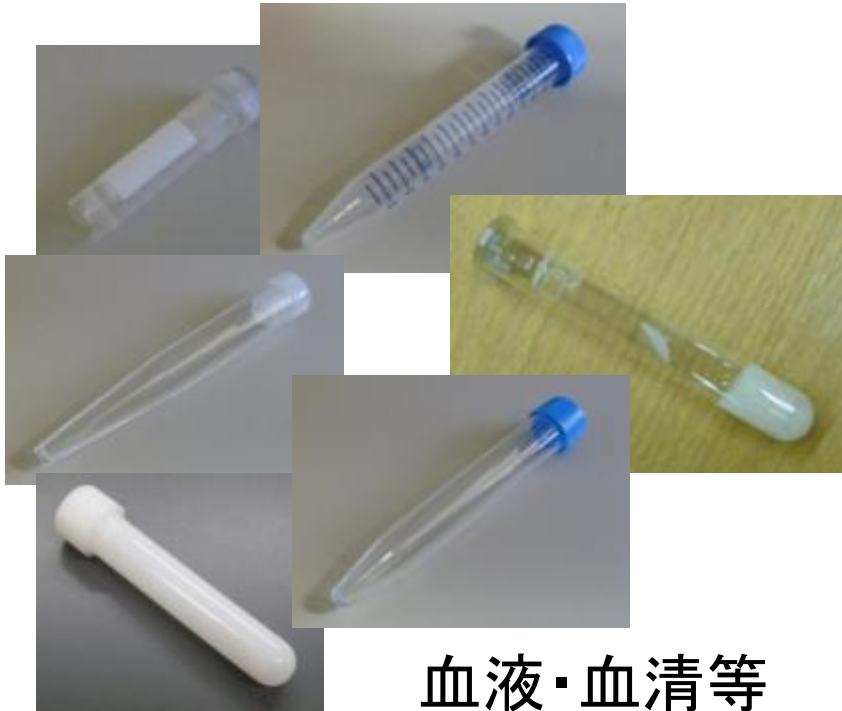
吸収材
内容物を完全に吸収するもの(液体の場合)

緩衝材
1次容器の保護・固定、
隙間への充填

保冷材
ドライアイスなど

4
(ゆうパックの際には
ジュラルミン製の容器)

1次容器 (検体を入れる容器)



血液・血清等

喀痰・吐物等



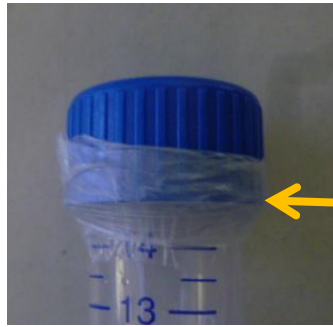
咽頭スワブ

糞便等



- 検体の形状や特徴を考慮
- 耐水性、防漏性を有するもの
- ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレン製のものが多い

1次容器の包装



シール

吸収材



緩衝材

1次容器は、

キャップが緩まないようパラフィルム等で固定するとともに、漏出防止のため、内容物を吸収するのに十分な量の吸収材で覆うこと。

2次容器 (1次容器からの万一の漏れに対応)

ボトルタイプ



パウチ袋タイプ



パウチ袋タイプは、ドライアイスが誤って中に入っていることが容易に確認できるなど、利便性が高いと考えられる。 **パウチ袋タイプは、お推め**

ヒューマンエラーの防止策

— 例：注意喚起のシールを貼る —



二次容器に添付する

パウチ袋タイプの二次容器も同様

〔遵守事項2(3)〕

2次容器への充填

ボトルタイプ



パウチ袋タイプ



2次容器は、

1次容器と必要な**吸収材**を入れて、
残った隙間には**緩衝材**を詰め、
ドライアイス等の誤混入の危険が
無いことを確認の上、密閉すること。

3次容器への充填



注意！ 2次容器と3次容器は、 指定された組み合わせで用いる。

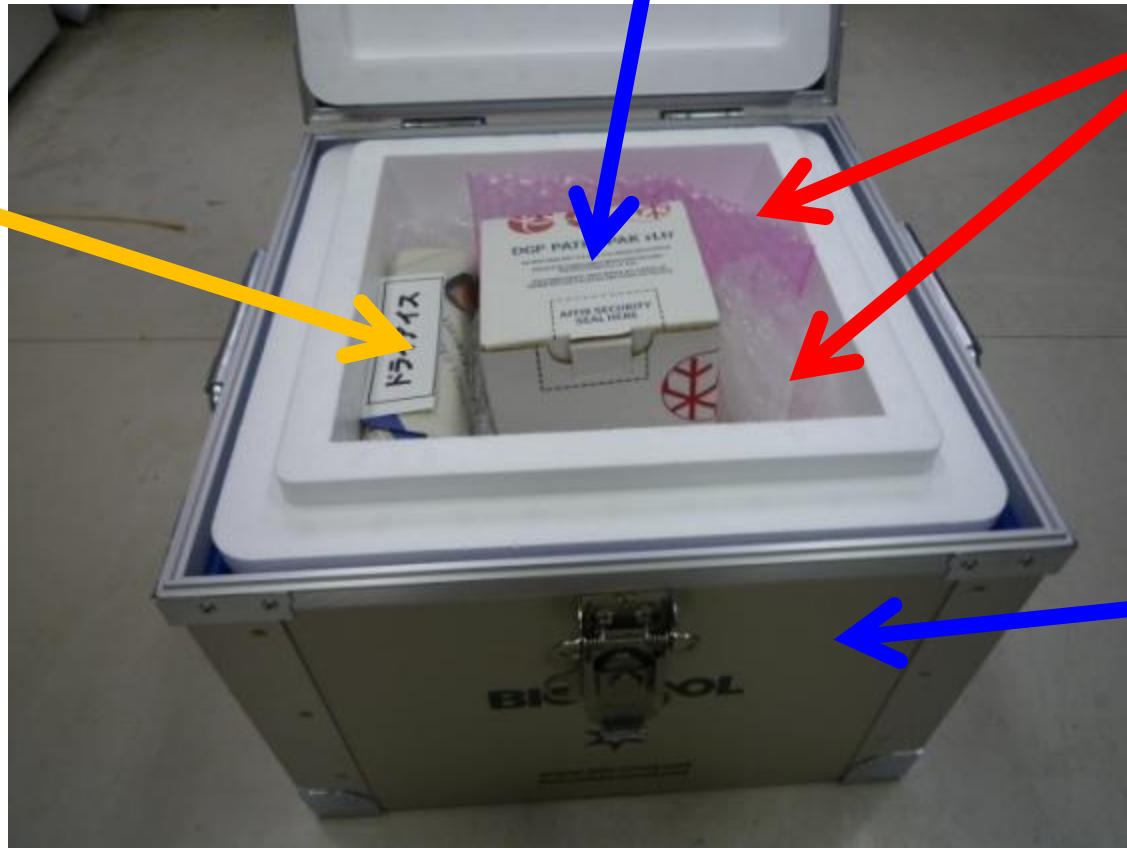


ジュラルミン製4次容器への充填 保冷・凍結

基本的3重包装済みの梱包物

ドライアイス

ドライアイス等の保冷剤は3次容器と4次容器の間に入れる



緩衝材

ジュラルミンケース

ジュラルミン製4次容器への充填 常温

基本的3重包装済みの梱包物



緩衝材

ジュラルミンケース

ゆうパック送り状への記載 臨床検体+ドライアイスの場合

© 大切なお荷物を、しっかりと丁寧にお届けします。 同一あて先割引 お問い合わせ番号

ゆうパック JP POST

お問い合わせ先 0120-23 (携帯電話からご利用) 0570-04 配達状況お問い合わせ http://www.post.japanpost.jp

TO 郵便番号 おところ

お届け通知 必要・不要

お問い合わせ番号 1170-0085-9614

配達希望日 月 日

受付日 年 月 日

配達希望時間帯 午前中 午後① 午後② 夕方 夜間 希望 17~19時 19~21時 なし

配達予定日 月 日

サイズ 60 80 100 120 持込 集荷 同一

品名 臨床検体、危険物

概要 ドライアイス在中

運賃・料金 円 円 徴収金額 (切手別掲) 円

取扱所 担当

ご依頼主控

印

左記の金額を正に郵便しました。本書をもって徴収証にかえることがあります。

日本郵便 JAPAN POST GROUP

太枠内をボールペンで強くお書きください。お届け先様・ご依頼主様の電話番号もお忘れなく！

品名:
臨床検体、危険物

摘要:
ドライアイス在中
(ドライアイス使用時)

病原体の場合は 品名: 病原体、危険物

安全性適正包装確認済み ラベル

安全性適正包装確認済み

平成〇〇年〇〇月〇〇日

包装責任者： △△ △△

機関名： 〇〇衛生研究所

4次容器への表示

ゆうパック送り状

安全性適正包装
確認済みラベル

ジュラルミン製の
4次容器に
ゆうパック送り状
と梱包責任者の
確認済みのラベル
を貼る。



チェックシートの作成

チェックシートの項目について正しく実施されているか確認する。



包装責任者のダブルチェック。

国立感染症研究所での病原体輸送に関わるチェックシート

国立感染症研究所感染症部、2010年10月10日現在、バイオセーフティ管理室のHPに掲載されています。最新フォーマットを参照し最新情報をあててください。

0100-01000000-0000-0000 (バイオセーフティ管理室記入)	ラベル用 黄	平成 年 月 日
発送人:	所属科/室/センター: 室:	戸山・村山・ハンセン科/検査号: E-mail:
受取人:	送り先住所: 〒	電話: E-mail:
送付内容: 可能な限り詳細に	一次容器の種類と個数:	輸送分類"黄": <input type="checkbox"/>
バイオリスク管理記録(サイン): 所属 (科/室/センター):	(サイン):	内線番号: E-mail:
バイオセーフティ管理室	(サイン):	年月日: 平成 年 月 日
事務担当者	(サイン):	荷物の運送納税: 平成 年 月 日

基本三重梱包 (Basic triple packaging system) のチェックシート

チェック項目	Yes	No
1. カテゴリ-B 輸送容器またはB類病原体の病原体輸送容器を使用し、正しく梱包しているか		
2. 検体を入れる一次容器(密封水栓で密封) (防漏性) があるか		
3. 検体検体が Yes の場合は2:1、No の場合は3:1		
5-1. 検体検体を全量抽出出来る、十分な吸収材を入れたか		
5-2. 一次容器のキャップに適切なシールを施したか		
4. 複数検体を入れたが Yes の場合は4:1、No の場合は3:1		
4-1. 検体は同種類で同液が (種類) (本)		
4-2. 複数検体は相互に密封し相互に接触しないか		
4-3. 三次容器の内側に無関係な物質を入れていないか		
3. 二次容器と適切なキャプション材を三次容器に入れたか		
6. 送付検体一覧表を二次容器と三次容器の間に入れたか		
7. 検体類は封鎖しているが Yes の場合は1:1、No の場合は2:1		
7-1. 検体類の封鎖は (水 ・ 凍結剤 ・ ドライアイス ・ その他)		
(注) 検体類を封鎖する場合はバイオセーフティ管理室に検体類		

7-1 で該当するものを口で固めて下さい。
一次容器と二次容器はしっかりと密封し、外袋 (三次) 容器とオーバーパックは同じように指定の場所までお持ち下さい。
バイオセーフティ管理室のチェックを受け、黄ラベルを貼付してもらって下さい。

ご対応をよろしくお願いいたします

くれぐれも2次容器にドライアイスを入れないように！！